



発行日 2023年1月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

<https://jisen.jp>

生の舞台を市民と共に!

岸和田文化事業協会 会長

齊藤 憲子



新春を迎え、皆様には健やかにお過ごしのことと存じます。

岸和田文化事業協会は、平成14年に「市民の文化は市民の手によって守り育てて行く」を理念として掲げ、昨年20周年を迎えました。しかしながら近年はスマートフォンの普及により、多様な文化・芸術がボタンの操作一つで見たり聞いたり発信したり出来る時代へと移り代わりました。そのことにより「生」の音楽や絵画などの芸術に触れた時の感動や驚きが如何に大切かを伝えることが難しくなってきました。加えてこの3年間はコロナウィルス感染症の拡大により、なお一層難しさを増しています。

とはいえ悲観ばかりもしてはいられません。岸和田文化事業協会は、音楽ホールを有する自泉会館の管理人として「生」の音楽の素晴らしさを皆様に伝えようと、岸和田市から多くの音楽家や音楽愛好家を増やすことを目標に掲げ、ジュニアコンサート・フレッシュコンサート・Re.フレッシュコンサート・フレッシュプレミアムコンサートを開催し、さらに自泉アーティストバンクの開設で一貫した音楽の研鑽と発表の

場を用意しました。そして、その道を歩む音楽家を応援して下さる仲間を広く募集しています。市民の皆様、地域の皆様、どうぞ仲間にお入りいただき「生」の歌声や楽器の音色を体験してください。そこにはきっと素晴らしい感動があるはずです。1月、2月、3月もどうぞ自泉会館へ足をお運び下さい。

令和5年度は上記の事業に加え楽しい音楽会や、展示室での「日本人の美意識シリーズ第2弾」として、茶の湯の四季のしつらえを参考とした現代家屋にも似合う工夫の展示やワークショップなども考案中です。コロナ禍で中断していたバス研修旅行や岸和田市の名所・旧跡を巡る街歩きも再開し、皆様とともに学んだり楽しんだり出来る企画を考えておりますので、ふるってご参加下さいますよう宜しくお願い致します。

会員はもちろん、市民・地域の皆様のご意見やご感想・ご提案を、ぜひ岸和田文化事業協会までお寄せください。お待ちしております。

末筆になりましたが、本年も皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

心のある歌を届けたい

自泉アーティストバンク 松原 みなみ

ここ数年の私の悩みといえば、演奏会本番の緊張と不安です。「あそこのフレーズ、息が足りなくなったらどうしよう」「歌詞がとんで、頭が真っ白になったらどうしよう」——そんな“どうしよう”で頭の中がいっぱいになって目の前の音楽に集中できない。「前はこんなじゃなかったのになぁ」——演奏が終わると、大抵このような脳内反省会が始まるのです。

私が声楽を本格的に始めたのは大阪府立夕陽丘高等学校音楽科に入学してからです。ここで恩師と出会い、学友と切磋琢磨し、様々な経験を通して音楽の深さや表現することの楽しさに触れ、夢中になって三年間を過ごしました。

この頃、舞台上で歌うことはただただ楽しいもので、緊張することは殆どありませんでした。大きな達成感が得られて、最高に気持ちが良い、私は声楽家に向いてると思っていました。

大学院受験を二週間後に控えた頃、初めて本番前の緊張や不安に悩まされました。最高音が決まらない。10回歌って7回は出来が悪い。どうしたものかと頭を悩ませながら歩いていると、同期のメゾソプラノにばったり会いました。彼女も院試受験組で、互いの進捗状況を話しつつ、私は悩みを打ち明けました。「そんなこと気にしてるの？」—彼女がケロっと言ってくれました。「みなみの歌の良さってそこ(技術)だけじゃないじゃん！心のある歌が歌える人でしょ！」——彼女は何気なく言ったのかもしれませんが、私はその言葉を聞いてすーっと心が軽くなって、歌の調子も回復し、落ち着いて受験に臨むことが出来ました。

今回も、第91回日本音楽コンクールの参加を決めた瞬間から本選会まで、沢山の温かい言葉に励まされ支えられていたように思います。

声は身体や精神状態と声のパフォーマンスが密接に関係する楽器で、冒頭に書いた通りここ数年、私はプレッシャーや焦りから思うように歌えない状態でした。そんな時にある先生から「正しい音楽じゃなくて、あなたがその音をど



う解釈して演奏しているのか。みんなそれが聴きたいのよ」というお言葉を頂き、ハッとしました。ミスしないようにと気にしてばかりで、その楽曲を楽しみ、愛情をもってその素晴らしさを伝えることを忘れていたのです。これでは、かつて同級生が言ってくれた「心のある歌」なんて歌えているわけがありません。

それからは初心にかえって楽曲に向き合うようになり、コンクールの本選会当日は緊張がよい集中へと変わり、心から楽しんで歌いすることができました。久しぶりに自分の演奏に満足できたのは心から嬉しいことでした。

私が歌い続けられているのは、そんな温かい言葉が何度も迷う私を導き、正してくれているおかげです。私もそんな風に誰かを励まし、パワーを送れる言葉をかけられたら…と思うものの、残念なことに気の利いた言葉を使うセンスも語彙力も足りません。だからこそ私は歌で、音楽の力を借り人の心に寄り添っていきたいと思います。

2022年10月25日に行われた「第91回日本音楽コンクール 声楽部門」第1位

2022年10月28日、第68回自泉フレッシュコンサートに出演

『熊沢友雄日記』

～岸和田藩士の暮らしをたどる～



嘉永五年(1852)から明治二十八年(1895)までの間記述された『熊沢友雄日記』。このページでは岸和田まつり関連の日記を抜粋しご紹介していきます。

※月日は新暦

明治十一年 (1878)

七月十二日 (旧六月十三日)

旧暦六月十三日氏神祭礼により町浜より太鼓台出る

九月十四日 明日神祭に付、今朝未明より①三郷町々檀尻を引出し、市中雑踏

九月十五日 氏神神礼に付三郷町々檀尻を出し、神拝をなせり 昨年農家豊作に遇ひ、本年又順気能、米綿両作共出来見事にて、商家運転も自然と宜敷所より、②世上景気を取直し候に付、今日の祭礼殊の外賑ひ子輩の衣装、夜中の点灯等前々に超過したり、依て自家来客も不少午後飯夕饗等を初酒饗(しゅせん)に至マデ賄に走奔をなしたり

来客…岡田妻女・子供武人・従者老人、
間下妻女・子供三人、馬場村作右衛門、
三ツ松新右衛門・岡人女房、岡村忠左衛門、
上松忠右衛門、奥右衛門、メ拾四人

料理…平 かまぼこ・湯葉・冬瓜・芋・焼麩、
汁 ねき・えひ、焼物 くり、
取肴 なし・太刀魚、蟹、
白瓜・あけ豆ふ・すみそ、
此しろ・ねふか・五もくすし、以上

持参到来…まん十巻包 岡田ヨリ
さくけ一重 新右衛門ヨリ
かき少々 間下ヨリ
頭芋三株 作右衛門ヨリ
木の葉せんべい 忠左衛門ヨリ

九月十六日 昨日の草卧にて家内休業、休憩す

明治十二年 (1879)

十月十日 本日祭礼③(コレラ病に付延日に相成に付)に付、諸町より檀尻出賑例年に劣らす来客左の通に付左の料理にて待遇せり

来客…三ツ松岡田利通・岡人妻・子二人、
上松村忠右衛門、内ノ畑村沢周五郎・
岡人倅老人・岡人親類紀州人老人、
三ツ松村奥野万太郎、岡阿部喜一郎、
土生村山本市助

料理…平 車海老・いも・かもうり、
皿 系より・ねき、
汁 ねふか・えひ、
酒の肴 いも鯿(たこ)、かつちよ魚・ねふか、
かさみ、す鯿

③コレラ蔓延のため、祭礼を延期
令和のコロナ事情と類似点あり



今回はご馳走の名前が並びます。好景気に後押しされた明るい様子は読んでいても楽しくなります。たくさんのお客様を迎え大忙し。お祭りが明けた翌日の雰囲気も、現代と同じですね。1879年はコレラの大流行で全国に感染が広がり、多くの犠牲者が出たそうです。疫病退散を願う気持ちは、お祭りを一層盛り上げたのかもしれない。

①当時＝村方・町方・浜方

現在＝中央・浜・天神

②好景気の時は祭も賑やか

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

岸和田七宮詣
岸和田の神社を訪ねる ⑥

岸和田天神宮
(沼天神)



岸和田天神宮の創建は、後村上上皇の正平17年（1362年）とされています。泉州沼村（現在の沼、筋海、並松）の村長であった沼間将監が、病父の平癒を八坂神社に願い回復したのを喜び、分霊を勧誘したのが始まりとされています。後に天照大神、八幡大神を別社に祀り沼の天神さんとして親しまれてきました。

その後明徳年間（1390年）から天正年間（1573年）に至るまで、再三兵火の厄にあい社殿旧記宝物等は一切焼失しましたが、村民はその荒廃を嘆き文禄3年（1594年）に社殿を復興させました。慶長年間（1596年）になり小出播磨守が岸和田領主になった時、別社を岸和田城内に移しその守護神としました。表「天神宮」裏「天和3癸亥年祭吉日」と彫られた神号額が現存しているので、天和3年（1683年）に天神宮と称されたようです。

享保年間（1716年）村民が私祭していた菅原道真公を合祀しました。明治4年神社調査の際、社名が天神宮であることから主祭神を菅原道真公と誤認して菅原神社と届出し、明治40年から42年にかけて近隣8社を合祀し氏子町も拡大しました。昭和57年御鎮座620年を機に社殿を造営し竣工後名称を旧に復し「岸和田天神宮（沼天神）」と改称しました。



手水鉢の中では金魚が泳いでいますので、覗いてみてくださいね。



1月9、10、11日に行われる「えべっさん」の岸和田天神戎神社



為岩大神稲荷神社の右手には合祀された8社が祀られています



菅原道真公をお祀りしているので合格祈願をされる方が多く、様々な授与品があります。



天神宮では神前結婚式の披露宴会場もあり、展示会や会合などでも貸していただけます。以前お花の展示会を拝見しましたが、趣があっていい会場でした。時々落語会も開催されているようです。

2月3日の節分祭では「厄除けひいらぎ守り」の授与があり、3月3日には人形供養が行われ、たくさんの人形が持ち込まれています。6月30日と12月31日には大祓式が行われますが、コロナの感染拡大を防止するためここ3年くらいは関係者のみの式になっています。毎月1日の9時から始まる月次祭は誰でも参加することができますので、月の初めにお祓いを受けに行ってはいかがでしょうか。

岸和田祭の9月の祭礼では天一番の沼町、天二番の筋海町、並松町、下野町、別所町、藤井町が宮入りし、10月の祭礼では作才町と山下町が宮入りします。

（取材：近江、小木曾）

<御祭神>

主神 速須佐之男命(スサノオノミコト)
主神 菅原道真公

<相殿>

熊野櫛御毛奴大神(クマノクシメケヌノオオカミ)、市杵島姫命(イチキシマヒメノミコト)、品陀別名命(ホンダワケノミコト)、勝尾明神、経津主命(フツシノミコト)、武甕槌命(タケミカヅチノミコト)、天児屋根命(アメノコヤネノミコト)、比売命(ヒメノミコト)、表筒男命(ウワツツノオノミコト)、中筒男命(ナカツツノオノミコト)、底筒男命(ソコツツノオノミコト)、息長足姫命(オキナガタラシヒメノミコト)

<合祀された8社>

別所村字來迎山の村社熊野神社(祭神速須佐之男命、熊野櫛御氣奴命)
南掃守村大字加守字軒の村社(菅原神社・祭神菅原道真公)
同村大字上松岡山の村社(菅原神社・祭神菅原道真公)
大字野宮の浦の村社(八幡神社・祭神品陀別名命)
大字藤井字市杵島の村社(市杵島姫神社・祭神市杵島姫命)
大字野大字藤井立会の村社(菅原神社・祭神菅原道真公)
南掃守村大字下松字山下の村社(勝尾神社・祭神勝尾明神)
同村同大字明神の村社(厳島神社・祭神厳島姫命)



御朱印



岸和田天神宮

岸和田市別所町1-13-15 072-436-1188

岸和田天神宮HP

音楽劇「桃と赤鬼」 本番に向けて 稽古中です!



むかしな^{かねちか}あ、岡山から包近の辺りはなだらかな
草の丘でな^{かねちか}あ、桃は1本もなかったころのことや

これは岸和田に伝わる昔話のひとつ「桃と赤鬼」の冒頭です。この物語を基に2015年、市民参加の事業として岸和田市内の3つの文化施設、マドカホール・自泉会館・浪切ホールが合同で音楽劇を作りました。プレビュー公演を自泉会館ホールで、本公演はマドカホールで上演し、その後、この時の脚本・音楽は自泉会館等の管理で眠っていたのです。

ところが公演をご覧になった方から「あの舞台面白かった。また公演しないの?」との声が寄せられるようになり「確かに、このままお蔵入りなんてもったいないよね」と、前回の舞台を基に再演に向けての取り組みが始まりました。

折角だから子どもが主演だったら・・・コロナ過だけど私たちができる事を最大限生かしたい。子どもたちの中にある力を引き出したい

企画を形にしていく中で、そんな思いが沸き上がってきました。

そこで前回脚本・演出を担当された作家松本則子さんに相談し、子どものための脚本制作を依頼。大人バージョンと子どもバージョン、2本の作品上演が決定しました。

子ども版の出演者は一般公募し、小学2年生から中学1年生の10名がオーディションで選ばれ、演出・演技指導は人形劇団クラルテの茨木新平さん、音楽指導は理事の角野芳子さんで、岸和田文化事業協会20周年を記念する事業、音楽劇「桃と赤鬼」がスタートしました。

稽古は発声練習、体を動かす準備運動から始まりました。最初は緊張していた子どもたち。すぐに打ち解けると仲良く遊んで、話を聞いているのかいないのか。2時間ほどの練習が、月に2回だけ。遊んでばかりはいられません。台本を受け取り、歌の練習が宿題となり、徐々に先生方の声を聞くようになってきました。

「ここまで届くようしっかりお腹から声出して!」「おおー!いい声」「そこはしょぼんとしながら…」

先生方がイメージを言葉で伝え、子どもたちの創造力を刺激すると、その変化は顕著でした。プロの先生から本格的な指導を受け、演技のおもしろさや難しさを楽しみ、

自分が舞台に立つ姿を想像できるようになってきました。「もっとできる!」いっぱい細かく繰り返し稽古します。「今日は通しで動くよ!」みんなの勢いが先生を驚かせます。

「こうして影響し合って、本番までもっともっと伸びていくんだろうな」嬉しい変化を稽古の度に発見すると、子どもたちからこんな声なき声が聞こえてきます。

「これからもっと面白くなる!」「とにかく稽古するしかない!」「次の練習も頑張ろう!」

コロナ禍はこの世界を大きく変えてしまいましたが、感染対策を万全に「表現する楽しさ」「仲間と1つのものを創りあげる喜び」を学びながら本番に挑みます。創作の灯を絶やさないためにも。



「よかったな^{こかげ}あ、ナミ」「おおきに、五郎」
桃の木陰^{こかげ}で、ふたりはしっかりと手^{にぎ}え握^おり合うた。
その秋、五郎とナミはめでたく祝言^{しゅうげん}あげた。それから、岡山や包近^{かねちか}の村じゅうどここでも、いっぱい桃を作るようになったんやてえ

みなさん、どうぞ本番をお楽しみに!!

(岸和田文化事業協会副会長 小島 恵)

※自泉アーティストバンク登録者等による大人バージョンも鋭意練習中です! 2つの舞台に、ぜひおいでください。



Ichigo-Ichien

歌との出会い～ そしてコーラスへ

齊藤 健二



私は小学校に入るまで、親の影響でドーナツ盤の歌謡曲をよく聞いていました。「柔」「天使の誘惑」「東京の灯よいつまでも」「ローハイド」が記憶に残っています。小学校時代は特撮ヒーローやアニメの主題歌にどっぷり。特に「およげ、たいやきくん!」で有名な子門真人が独特の高音で歌う曲が好きでした。中学生になると井上陽水やかぐや姫、高校・大学時代はアリスがお気に入り、その他、流行した曲は何でも聞いていました。

振り返ってみると、全校生徒で合唱するため中学校の音楽の先生が熱心に指導してくれたことが、歌うキッカケになったような気がします。高校に入って部活を選ぶ時には、迷わずコーラス部に入ったのを覚えています。そこからはNコンで全国大会出場を目指し、練習の日々でした。

そんな中、和歌山市内の7校のコーラス部合同で「メサイヤ」に取り組む機会がありました。オーケストラの伴奏で200人以上の生徒が歌うのです。その一人として参加し、歌の迫力に魅了されました。

その時指導してくださった方々がいたから、今まで続けてこれたのでしょう。コーラス歴45年。1000曲以上歌って来ましたが、まだまだ新しい発見を追いかけていきたいと思っています。

2023年2月5日(日) 音楽劇「桃と赤鬼」に「村人」役で出演

集中力

自泉アーティストバンク

畑澤

ひろ
紘



長い人生の中で、1番充実していたと思える時はどのような時でしょうか。私は集中した時だと考えます。本を読んだり映画を見たり好きな仕事をしたり、どんな事でも集中する時はありますが、私の場合は音楽の練習や本番で演奏している時です。

大学の頃からでしょうか。それまではあまり練習が好きではなかったのですが、授業が終わってから練習室に何時間もこもり、歌ったりヴァイオリンを弾いたり、ピアノを弾いたりするのがとても楽しく、生活の一部になっていきました。それが原点となり、今も続いている気がします。

その頃は音楽を奏でるだけで楽しかったのですが、今はもっと深い勉強をしないとイケないと思っています。曲の構造や詩の成り立ち、ピアノ伴奏との兼ね合いなど勉強に尽きることはありません。それらひとつひとつをコツコツと積み上げていき、一つの曲を完成させていくのを目標にしています。

毎年毎年、過ぎるのが早くなってきている気がします。その中でどれだけ集中する時間を作って充実した音楽活動ができるか、常に自分を見つめ直しながら過ごしていきたいと考えています。そうして丁寧に紡いだ音楽が聴いた人の心を震わせられたなら、大きな喜びです。

第51回自泉フレッシュコンサートに声楽で出演

2023年2月5日(日) 音楽劇「桃と赤鬼」に「じい」役で出演

* 岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

文化の日祝典記念事業 時代を楽しむ音楽会 古典派編 ～“私たち”の音楽の幕開け～

日 時:令和4年11月3日(木・祝) 午後1時30分開演
会 場:マドカホール(岸和田市立文化会館)
入場者数:130人

〈皆さんの声〉

- ◆文化の日に素敵な音楽に触れさせていただきありがとうございました。岸和田市がこれからも文化あふれる街であってほしいと思います。
- ◆クラシックは苦手でしたが、出演者2人のおかげで好きになりました。



時代を楽しむ音楽会 初期ロマン派編

日 時:令和4年12月9日(金)午後7時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:16人

〈皆さんの声〉

- ◆演奏者の息づかいや表情まで見ることができ感じることでできる一体感のある素晴らしい空間でした。
- ◆時代背景と共に音楽が聴けて良い企画でした。



「ストリートピアノin自泉会館」

自泉会館のピアノで演奏してみませんか

日 時:令和4年11月6・8・10・11・13・15・16・17・18・19日
午後6時～8時
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:207人

〈皆さんの声〉

- ◆この事業を今後も続けてほしい。
- ◆我流でピアノを弾いているので、こんなホールで弾けて幸せです。



第6回自泉クリスマス会「灯り展」

日 時:令和4年12月16日(金)～18日(日)
午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)
会 場:岸和田市立自泉会館展示室
入場者数:91人

〈皆さんの声〉

- ◆展示室の中に竹林…がすごく素敵でした。
- ◆ワークショップでの頑張りを作品に感じました。私も次回作ってみたいです。



自泉 灯り ワークショップ

①籐を編んで優しい灯り

日 時:令和4年10月16日(日)・30日(日)午前10時～正午
会 場:西念陶器研究所

②麻ひもを使ったボール状の灯り

日 時:令和4年11月6日(日)午前10時～正午
会 場:岸和田市立自泉会館展示室

③陶器でつくる温もりのある灯り

日 時:令和4年11月12日(土)午前10時～正午
会 場:岸和田市立自泉会館展示室
参加者数:①12人 ②15人 ③4人

〈皆さんの声〉

- ◆講師が丁寧に教えてくださったのでステキな作品ができました。
- ◆割と簡単に出来たのに、見た目の良いものができた。もっと違う色のも作りたい。
- ◆自分でデザインした陶器の灯りの焼き上がりを楽しみます。

宇宙のお話 ～矢治健太郎さんに聞く partⅡ～ 星座盤を使ってみよう

日 時:令和4年11月13日(日)午後6時開始
会 場:岸和田市立自泉会館展示室
参加者数:16人



〈皆さんの声〉

- ◆雨で星座盤を使って夜空を見上げることができなかったのが残念。
- ◆宇宙は魅力的です。また違う切り口でお話が聞けたらと思います。

岸和田現風景、景観地区を歩く 春木中学・野村三昧

日 時:令和4年11月15日(火) 午前10時～正午
場 所:岸和田市春木地区界限
参加者数:6人

〈皆さんの声〉

- ◆身近でもまだまだ知らないところがあるのだと思いました。
- ◆いつもはさらっと見て通っているところでも、説明していただくと関心を持てる。



第69回自泉フレッシュコンサート

日 時:令和4年12月16日(金)午後6時30分開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:29人

〈皆さんの声〉

- ◆ピアノ以外の演奏会は初めてで、クラリネットのノロを聴くことができて良かったです。
- ◆一緒に参加した中学生二人がピアノ演奏に圧倒されていました。



第6回自泉クリスマス会 合唱ワークショップ

日 時:令和4年12月17日(土)
①初心者向け:午後1時～2時30分
②経験者向け:午後3時～4時30分
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
参加者数:①15人 ②9人

〈皆さんの声〉

- ◆初心者向けに参加し、気持ちよく歌わせていただきました。
- ◆初心者とは違い各パートに分かれて歌うことの楽しさを知りました。



第6回自泉クリスマス会 あわてんぼうのクリスマスコンサート

日 時:令和4年12月18日(日)午後2時開演
会 場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:51人

〈皆さんの声〉

- ◆第1部は初々しい中にも力強い演奏でした。
- ◆第2部はホール内をピアノの音色で包み込まれて心地よい空間となりました。



3館合同事業 令和岸和田風物百選展覧会 ～伝え継ぐ岸和田～

日 時:令和4年12月23日(金)～25日(日)午前10時～午後5時
会 場:マドカホール(岸和田市立文化会館)展示室
入場者数:352人

〈皆さんの声〉

- ◆写真ではなく、描かれているのがよかった。
- ◆普段気が付かずに通っている道が、こんなに素敵な場所だと改めて気付かされました。



●岸和田文化事業協会20周年記念事業 音楽劇「桃と赤鬼」

日 時: 令和5年2月5日(日)

①子どもバージョン: 午後1時開演

②大人バージョン: 午後5時開演

会 場: 岸和田市立自泉会館ホール

出演者: ①ナミ・うさぎ: 織田 すず・上堀 美瞳・金子 茉奈
中和 郁寧・東浦 はるか

五郎 : 富田 結實
じい・うさぎ: 松岡 優寧
ばあ・うさぎ: 泉井 七海
赤鬼 : 櫻本 悠心
青鬼 : 目 響輝 ビクトル

②ナミ: 西村 文花

五郎: 孫 勇太
じい: 畑澤 紘
ばあ: 永田 雅子
赤鬼: 中野 嘉章
青鬼: しまふく 羊太
村人: 齊藤 健二・杉野 慎二
杉野 真由美・武内 美代子

オーケストラ: 指揮 : 角野 芳子
ピアノ: 田口 菜穂
チェロ: 伊石 昂平
クラリネット: 森田 美穂
打楽器: 大和 直美

チケット代: ①2,000円(当日500円増)

②3,000円(当日500円増)

定 員: 各50名

■チケット販売場所

岸和田市立自泉会館事務所

■申し込み・問い合わせ

岸和田文化事業協会事務局まで

〒596-0073 岸和田市岸城町 5-10 岸和田市立自泉会館

TEL/FAX 072-437-3801

E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

お願い 岸和田文化事業協会に取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務局まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

- 自泉会館では、新型コロナウイルス感染症防止のため事業鑑賞人数等を縮小して行っています。
- 自泉会館をご利用の際は、手指の消毒、マスク等の着用、社会的距離の確保、体調の悪い方の入館はご遠慮ください。また館内は換気のため扉等を開放しています。

●時代を楽しむ音楽会 近現代編

日 時: 令和5年2月17日(金)午後7時開演

会場: 岸和田市立自泉会館ホール

出演者: 中道 亜莉沙 (ピアノ)

古川 佐保 (ヴァイオリン)

筒井 奏子 (トランペット)

うっちー (ナビゲーター)

チケット代: 前売2,000円(当日500円増)

定 員: 50名

●わくわくコンサート

～フルート&ピアノで春いっぱい!～

日 時: 令和5年3月5日(日) 午後2時開演

会 場: 岸和田市立自泉会館ホール

出演団体: 音楽玉手箱マトリョーシカ

目 華子 (ピアノ)

井阪 祐子 (フルート)

チケット代: 前売ペアチケット1,000円 (当日500円増)

追加子どもチケット 1人500円(当日も同額)

定 員: 20組(幼児と保護者) ※兄弟姉妹可

●第14回フレッシュプレミアムコンサート

未来へ～ここから～

日 時: 令和5年3月12日(日) 午後2時開演

会 場: 岸和田市立文化会館(マドカホール)

出演者: 令和3・4年度自泉フレッシュコンサート出演者の

中から審査員により選ばれた方々

チケット代: 前売1,000円(当日200円増)

定 員: 200名

令和4年度(2022年度)(2022年4月～2023年3月)

会員募集

どなたでも会員になっていただけます

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970-9-28145
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle
Fontaine

vol.77

発行: 岸和田文化事業協会

発行日: 2023年1月25日

◆事務局

〒596-0073

岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員

小末もとえ・近江和代・小木曾由季

片山智信・黒木幸子・阪井正明

編集後記...

今冬は例年になく厳しい寒さですが、今年も自泉会館では熱いイベントが目白押しです。皆様もご参加ください。お待ちしております。(小木曾)

<https://jisen.jp>

岸和田文化事業協会

検索

